



中学生ロボコン

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一
 昨日1月20日(日)午後、荒川区・北区教育委員会主催の中学生ロボコンin航空高専が行われました。荒川区、北区の中学生と若干の台東区、足立区、私立中学生約50人・12チームと高専学生3チームが参加して大会を行いました。

優勝は北区の堀船(1年生)、飛鳥(2年生)、岩瀬中学(2年生)、台東区の駒形中学(2年生)の混成チームでした。高専4年生のチームに競り勝ちました。2位は荒川区の9中2年生チームでした。3位は荒川区の3中2年生チームでした。ピンポン球を相手コートにたくさん入れた方が勝ちのルールでした。ただし相手コートの後方にある穴に入れるとそれで勝負

が決まるVゴールもあります。

中学生たちは高専学生の指導のもと、大変おもしろいユニークなマシンをたくさん考え、そして作ってくれました。年末・年始7日間かけて作りました。9時半から夕方4時までということになっていましたが、時間が守られるのは初日だけで、2回目以降は6時過ぎまで作業をしていました。大会の前日は8時を過ぎたチームもありました。奇抜なアイデアで観衆がびっくりしたり、Vゴールに球を投げあげて入れるマシンには大歓声があがりました。

これらの模様は荒川CATVで近々放送されます。また、2月2日(土)13時北区岸町ふれあい館で、3月9日(日)10時荒川区産業展(荒川総合スポーツセンター)で、さらに4月19日(土)お台場の日本科学未来館でエキシビジョンマッチが行われます。中学生たちの作ったロボットを是非見に来てください。



受験生の皆さん、応援します!

先週の土曜、日曜は大学入試センター試験日でした。受験された皆さん、お疲れ様でした。この後も、2月は上旬に国・私立中学、下旬に各

大学と都立高校の入試日が控えており、小学生から高校・卒業生まで、受験生の皆さんにとってははいよいよ大詰めの一シーズン到来です。ニュースなどで試験実施のシーンを見るたび、私の中では「あの頃の」自分が重ね合わせ、胸が熱くなります。

私は、今から20年ほど前に区内の私立中学を受験しました。本番では鉛筆を持つ手も震えるほど緊張しましたが、睡眠をしっかり取り、体調も正常だったので、冷静に問題を解けた気がしました。それでも、気が小さいため(?)合格発表は親にま

ず見に行ってももらったものでした。それから数年後、今度は大学入試でした。まず最初の関門・センター試験では、数学IIや地理は満足の手応えだったものの、事前の予想通り苦

手の英語は惨憺たるものでした。

二次試験は東京都立大学(現・首都大学東京)を受験しました。恐れていた英語の長文問題では、文章の細かい部分は分かりませんが(笑)、文章の大意は、以前どこかで見聞きした覚えのある科学の話(=冷蔵庫の中でリンゴとキウイフルーツを一緒に入れておくと、リンゴから出るエチレンの影響でキウイが早く熟する、というもの)であったため、何とか解答できたものでした。

試験は、日頃の努力を試される場ではありませんが、運やツキといったものにもかなり左右されると思います。だから、最後まであきらめずに、受験生の皆さんには健闘してほしいと願っています。前日はしっかり眠って、ベストの体調で臨むのが良いこととは言うまでもありません。

メガネをお使いの方は、当店で点検・調整をしておきましょう!

【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】



◆メガネのサトウ◆
 南千住5丁目43の13【コッ通り】
 TEL 03 (3806) 4930

★営業時間のご案内★

平日・土曜: AM 10時 ~ PM 7時 30分
 日曜・祝日: AM 11時 ~ PM 6時 30分

©1月と2月は、毎週木曜日が休業